

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-40℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	保存温度範囲	-40℃ ～ +85℃ (95%RH MAX)	
	電 力	50/√f W 以下 [f:GHz]	特性インピーダンス	50Ω (0 ～ 18 GHz)	
	特 殊 性	—	適合ケーブル	—	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構 造	外観、構造、仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表 示	目視にて確認する。		○	○
電 氣 的 性 能	接 触 抵 抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コネクタ 8 mΩ以下 外部コネクタ 8 mΩ以下	○	○
	絶 縁 抵 抗	DC 500Vで測定する。	5000 MΩ以上	○	○
	耐 電 圧	AC1000Vの電圧を1分間印加する。(漏洩電流2mA以下)	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比	周波数 0 ～ 18 GHzにて測定する。	VSWR 1.25 以下 (0～12.4GHz) VSWR 1.3 以下 (12.4～18GHz)	○	○
	挿 入 損 失	周波数 ～ GHzにて測定する。	dB以下	—	—
	機 械 的 性 能	単体挿抜力	の鋼製ピンで測定する。	差込力 N以下	—
引抜力 N以上		—		—	
総合挿抜力		適合コネクタで測定する。	差込力 N以下 引抜力 N以上	—	—
繰り返し動作		1000 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 中心コネクタ 12 mΩ以下 外部コネクタ 12 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
耐 振 性		周波数 10 ～ 2000 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 196 m/s ² で 3 軸方向各 4時間 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
耐 衝 撃 性		加速度 1960 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
ケーブルクランプ 部の引っ張り強度		N以下の引張力をケーブル軸に加える。	① ケーブルの抜けや断線等のないこと。 ② クランプ 部の破損がないこと。	—	—
環 境 的 性 能		温湿度サイクルの 耐湿性	温度 +25 ～ +65 ℃, 湿度 90 ～ 98 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	② 絶縁抵抗: 100 MΩ以上(高湿時) ③ 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上(乾燥時) ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○
	温度サイクル	温度 -40 → — → +85 → — ℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分 を 5 サイクル試験する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩 水 噴 霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	VSWR 1.4以下 (0 ～ 18 GHz)	○	—
△	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
0					
備考			承 認	TO. KATAYAMA	17. 08. 30
RoHS適合品			検 図	KY. SHIMIZU	17. 08. 30
電圧定在波比 (VSWR) は、HRMP-SMA (R) P (CL323-0009-0-00)			担 当	TY. OZAKI	17. 08. 30
HRMJ-SMA (R) P (CL323-0035-0-00) と組合せて測定。			製 図	TY. OZAKI	17. 08. 30
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512 (JIS C 5402) を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-379044-00-00		
HRS	製 品 規 格 表		製品名	SMA (R) -A-JJ	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL323-0124-0-00	△ 1/1